



## 安全データシート

Copyright, 2026, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

Document Group Number	11-3169-7	版	1.00
発行日	2026/02/02	前発行日	初版

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

## 化学品及び会社情報

### 1.1. 化学品の名称

3M<sup>TM</sup> Scotch-Weld<sup>TM</sup> 2158 B/A Epoxy Adhesive

#### 3M スtockナンバー

62-2158-7430-6 RS-0003-8709-9 UU-0120-3090-2

7010330060 7100282334

### 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

本製品は個々に包装された複数の構成成分からなるキット製品である。SDSには個々の構成成分のSDSが含まれる。個別のSDSを本表紙から分離しないこと。この製品を構成する製品のSDS番号は：

10-3163-2, 10-3162-4

## 輸送上の注意

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。(国際連合危険物に該当しない) 取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

改訂情報なし

免責事項：この安全データシート (SDS) の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

(法令で要求される場合を除く) 本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうか

をご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。



## 安全データシート

Copyright, 2026, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

Document Group Number	10-3162-4	版	1.00
発行日	2026/02/01	前発行日	初版

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

### 1. 化学品及び会社情報

#### 1.1. 化学品の名称

3M<sup>™</sup> Scotch-Weld<sup>™</sup> 2158 B/A Epoxy Adhesive (Part B)

#### 1.2. 推奨用途及び使用上の制限

##### 推奨用途

構造用接着剤

#### 1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分 2 A

皮膚感作性： 区分 1

生殖毒性： 区分 2

発がん性： 区分 2

生殖細胞変異原性： 区分 2

水生環境有害性 短期（急性）： 区分 2

水生環境有害性 長期（慢性）： 区分 2

#### GHSラベル要素

##### 注意喚起語

警告

##### シンボル

感嘆符 健康有害性 環境

ピクトグラム



危険有害性情報

H319	強い眼刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H361	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
H351	発がんのおそれの疑い
H341	遺伝性疾患のおそれの疑い
H411	長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313	眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P391	漏出物を回収すること。

保管

P405	施錠して保管すること。
------	-------------

廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

その他の有害性

二酸化チタンは発がん性物質に区分されているが、本製品の通常の使用において健康影響のあるような暴露はないと考えられる。

### 3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
石灰石	1317-65-3	40 - 70
エポキシ樹脂	25068-38-6	40
n-ブチルグリシジルエーテル	2426-08-6	6.5
クレイ	営業秘密	1 - 5
酸化チタン(IV)	13463-67-7	1.6
結晶性シリカ	14808-60-7	0.28

### 4. 応急措置

#### 応急措置

##### 吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

##### 皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

##### 眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。すすぎ続ける。直ちに医療機関を受診する。

##### 飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

##### 予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。

##### 応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

### 5. 火災時の措置

#### 消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

#### 使ってはならない消火剤

情報なし。

#### 特有の危険有害性

本製品では予想されない。

#### 有害な分解物または副生成物

物質

条件

アルデヒド	燃焼中
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中
塩化水素	燃焼中

**消火作業者の保護**

消火作業者への特別な防御措置は予想されない。

**6. 漏出時の措置****人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置**

区域から退避させること。新鮮な空気での場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。ばく露評価の結果に基づいて個人用保護具を使用すること。推奨の個人用保護具についてはセクション8を参照する。漏出時に予想されるばく露がセクション8に記載されている個人用保護具の保護性能を超える場合、または不明な場合は、材料の物理的および化学的危険性を考慮し、適切な保護性能を有する個人用保護具を選択する。緊急対応のための個人用保護具の例としては、可燃性物質の漏出時の防火服の着用、漏出物質が腐食性・感作性・重大な皮膚刺激性がある場合や皮膚から吸収される可能性がある場合の化学防護服の着用、吸入有害性のある化学物質に対しては陽圧式送気マスクの装着が挙げられる。物理的および健康有害性に関する情報については、SDSのセクション2および11を参照すること。

**環境に対する注意事項**

環境への放出を避けること。大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

**封じ込め及び浄化の方法及び機材**

ベントナイト、パーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

**7. 取扱い及び保管上の注意****取扱い**

工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。指定された個人保護具を使用する。

**保管**

熱から離して保管する。酸化剤から離して保管する。

**セクション8：ばく露防止及び保護措置****管理項目**

## 許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
石灰石	1317-65-3	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m <sup>3</sup> ;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m <sup>3</sup>	
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ACGIH	vTWA(吸入性ナノ粒子):0.2 mg/m <sup>3</sup> ;TWA(吸入性微粒子):2.5 mg/m <sup>3</sup>	A3: 動物発がん性物質
酸化チタン(IV)	13463-67-7	JSOH OELs	TWA(チタンとして、総粉じんとして)(8時間):2 mg/m <sup>3</sup> ;TWA(チタンとして、吸引性粉じんとして)(8時間):1.5 mg/m <sup>3</sup> ;TWA(8時間):0.3 mg/m <sup>3</sup> ;TWA(提案)(8時間):0.3 mg/m <sup>3</sup>	2B: ヒトに対しておそらく発がん性がある(証拠が比較的不十分)
結晶質シリカ, 吸入性粉じん	14808-60-7	JSOH OELs	TWA(吸入性粉じんとして)(8時間):0.03 mg/m <sup>3</sup> ;CEIL(吸入性粉じんとして):0.03 mg/m <sup>3</sup>	1: ヒトに対して発がん性がある。
結晶質シリカ, 吸入性粉じん	14808-60-7	JSOH OELs	TWA(吸入性粉じんとして)(8時間):0.03 mg/m <sup>3</sup> ;CEIL(吸入性粉じんとして):0.03 mg/m <sup>3</sup>	1: ヒトに対して発がん性がある。
結晶質シリカ, 呼吸性画分	14808-60-7	ACGIH	TWA(吸入性画分):0.025 mg/m <sup>3</sup>	A2: ヒトに対して発がん性が疑われる物質
n-ブチルグリシジルエーテル	2426-08-6	ACGIH	TWA:3 ppm	皮膚: 皮膚感作性物質
n-ブチルグリシジルエーテル	2426-08-6	JSOH OELs	TWA(8時間):1.3mg/m <sup>3</sup> (0.25ppm)	2B: ヒトに対しておそらく発がん性がある(証拠が比較的不十分)、皮膚感作性の可能性

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA: American Industrial Hygiene Association

ISHL: 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL(濃度基準値): 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs: 日本産業衛生学会許容濃度

TWA: 時間加重平均値

STEL: 短時間ばく露限界値

ppm: 百万分率

mg/m<sup>3</sup>: ミリグラム/立方メートル

CEIL: 天井値

## ばく露防止策

## 設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

## 保護具

### 眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。

サイドシールド付安全メガネ

間接式換気ゴーグル

### 皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

暴露の可能性が高い用途（例：スプレー、飛沫発生が予見される用途など）に本製品が用いられる場合、保護エプロンを使用する必要がある。適切なエプロンの材料を選定する際には手袋に推奨されている材料を参照のこと。手袋で用いた材料がエプロン用で入手できない場合は、ポリマーでラミネートした素材が適切な選択肢である。

### 呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态:	ペースト
色	白色
臭い	マイルドなエポキシ臭
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	>=260 °C
引火点	引火点なし
蒸発速度	適用しない
引火性	適用しない
燃焼点 (下限)	適用しない
燃焼点 (上限)	適用しない
蒸気圧	適用しない
相対蒸気密度	適用しない

密度	1.56 g/ml
比重	1.56 [参照基準：水=1]
溶解度	なし。
溶解度（水以外）	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
動粘性率	205,128 mm <sup>2</sup> /sec
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 （JIS-GHSの要求項目ではない）	0 g/l [試験方法： SCAQMD rule 443.1 での計算値] [詳細：パートAと一緒に使用する際]
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 （JIS-GHSの要求項目ではない）	101 g/l [試験方法： SCAQMD rule 443.1 での計算値] [詳細：支給されたままの状態]
モル重量	データはない。

#### ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

粒子特性	適用しない
------	-------

## 10. 安定性及び反応性

#### 反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

#### 化学的安定性

安定。

#### 危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

#### 避けるべき条件

熱。

#### 混触危険物質

強酸化性物質

#### 危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

## 11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは

製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

#### 毒性学的影響に関する情報

##### ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

##### 吸入した場合

気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

##### 皮膚に付着した場合

軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。 皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

##### 眼に入った場合

眼への激しい刺激：発赤、腫脹、痛み、催涙、角膜の曇り、視力障害などの症状。

##### 飲み込んだ場合

胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

#### その他健康影響情報

##### 生殖毒性

出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

##### 遺伝子毒性

遺伝子毒性・変異原性：遺伝子と相互作用を起こし、遺伝子発現を変化させる可能性がある。

##### 発がん性

発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

#### 毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い場合があります。

#### 急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	吸入－蒸気 (4 時間)		利用できるデータが無い：ATEで計算。50 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
石灰石	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
石灰石	吸入－粉塵 / ミスト (4 時間)	ラット	LC50 3 mg/l
石灰石	経口摂取	ラット	LD50 6,450 mg/kg
エポキシ樹脂	皮膚	ラット	LD50 > 1,600 mg/kg

エポキシ樹脂	経口摂取	ラット	LD50 > 1,000 mg/kg
n-ブチルグリシジルエーテル	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 1,000 - 2,000 mg/kg
n-ブチルグリシジルエーテル	吸入-粉塵 / ミスト (4 時間)	ラット	LC50 14 mg/l
n-ブチルグリシジルエーテル	吸入-蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 7.7 mg/l
n-ブチルグリシジルエーテル	経口摂取	ラット	LD50 1,530 mg/kg
酸化チタン(IV)	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	吸入-粉塵 / ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 6.82 mg/l
酸化チタン(IV)	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg
結晶性シリカ	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
結晶性シリカ	経口摂取		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

### 皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
石灰石	ウサギ	刺激性なし
エポキシ樹脂	ウサギ	軽度の刺激
n-ブチルグリシジルエーテル	ウサギ	軽度の刺激
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし
結晶性シリカ	専門家による判断	刺激性なし

### 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
石灰石	ウサギ	刺激性なし
エポキシ樹脂	ウサギ	中程度の刺激
n-ブチルグリシジルエーテル	ウサギ	激しい刺激
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし

### 呼吸器感作性または皮膚感作性

#### 皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
エポキシ樹脂	ヒト及び動物	感作性あり
n-ブチルグリシジルエーテル	多種類の動物種	感作性あり
酸化チタン(IV)	ヒト及び動物	区分に該当しない。

#### 呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
エポキシ樹脂	ヒト	区分に該当しない。

## 生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
エポキシ樹脂	In vivo	変異原性なし
エポキシ樹脂	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
n-ブチルグリシジルエーテル	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
n-ブチルグリシジルエーテル	In vivo	変異原性
酸化チタン(IV)	In vitro	変異原性なし
酸化チタン(IV)	In vivo	変異原性なし
結晶性シリカ	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
結晶性シリカ	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

## 発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
エポキシ樹脂	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
n-ブチルグリシジルエーテル	経口摂取	多種類の動物種	発がん性
酸化チタン(IV)	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
酸化チタン(IV)	吸入した場合	ラット	発がん性
結晶性シリカ	吸入した場合	ヒト及び動物	発がん性

## 生殖毒性

## 生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
石灰石	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 625 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
エポキシ樹脂	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2 世代
エポキシ樹脂	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2 世代
エポキシ樹脂	皮膚	発生毒性区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 300 mg/kg/日	器官発生期
エポキシ樹脂	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2 世代
n-ブチルグリシジルエーテル	吸入した場合	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.2 mg/l	10 週
n-ブチルグリシジルエーテル	経口摂取	発生機能に有毒	ラット	NOAEL 100 mg/kg/日	妊娠期間中

## 標的臓器

## 特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
石灰石	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.812 mg/l	90 分
エポキシ樹脂	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	
n-ブチルグリシジルエーテル	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	公的な分類	NOAEL 入手できない	

## 特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
石灰石	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
エポキシ樹脂	皮膚	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	2年
エポキシ樹脂	皮膚	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	13週
エポキシ樹脂	経口摂取	聴覚系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28日
エポキシ樹脂	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28日
エポキシ樹脂	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28日
エポキシ樹脂	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28日
エポキシ樹脂	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28日
エポキシ樹脂	経口摂取	眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28日
エポキシ樹脂	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28日
n-ブチルグリシジルエーテル	皮膚	肝臓	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 100 mg/kg/日	28日
n-ブチルグリシジルエーテル	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1.6 mg/l	50日
n-ブチルグリシジルエーテル	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1.6 mg/l	50日
n-ブチルグリシジルエーテル	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1 mg/l	28日
n-ブチルグリシジルエーテル	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.8 mg/l	50日
酸化チタン(IV)	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 0.01 mg/l	2年
酸化チタン(IV)	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
結晶性シリカ	吸入した場合	珪肺症	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく

## 誤えん有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

## 12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

## 生態毒性

## 水生環境有害性 短期（急性）

GHS 水生環境有害性（急性）区分 2：水生生物に毒性。

## 水生環境有害性 長期（慢性）

GHS 水生環境有害性 長期（慢性）区分 2：長期継続的影響によって水生生物に毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
石灰石	1317-65-3	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	>100 mg/l
石灰石	1317-65-3	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	>100 mg/l
石灰石	1317-65-3	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	>100 mg/l
石灰石	1317-65-3	緑藻類	推定値	72 時間	EC10	>100 mg/l
クレイ	営業秘密	該当なし	分類にデータ が利用できない、あるいは 不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
エポキシ樹脂	25068-38-6	液状化	推定値	3 時間	IC50	>100 mg/l
エポキシ樹脂	25068-38-6	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	>11 mg/l
エポキシ樹脂	25068-38-6	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	2 mg/l
エポキシ樹脂	25068-38-6	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	1.8 mg/l
エポキシ樹脂	25068-38-6	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	4.2 mg/l
エポキシ樹脂	25068-38-6	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	0.3 mg/l
n-ブチルグリシジルエーテル	2426-08-6	緑藻類	実験	96 時間	ErC50	35 mg/l
n-ブチルグリシジルエーテル	2426-08-6	ニジマス	実験	96 時間	LC50	65 mg/l
n-ブチルグリシジルエーテル	2426-08-6	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	9.2 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	440 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	7,600 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	ゼブラフィッシュ	推定値	96 時間	LC50	5,000 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	60 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	液状化	実験	3 時間	NOEC	>=1,000 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	EC50	>10,000 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	ファットヘッドミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l

酸化チタン (IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	NOEC	5,600 mg/l
------------	------------	----	----	-------	------	------------

## 残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
石灰石	1317-65-3	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
クレイ	営業秘密	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
エポキシ樹脂	25068-38-6	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	5 %BOD/COD	OECD 301F
エポキシ樹脂	25068-38-6	推定値 加水分解		加水分解性半減期	117 時間 (t <sub>1/2</sub> )	
n-ブチルグリシジルエーテル	2426-08-6	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	25 %BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法
結晶性シリカ	14808-60-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
酸化チタン (IV)	13463-67-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

## 生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
石灰石	1317-65-3	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
クレイ	営業秘密	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
エポキシ樹脂	25068-38-6	推定値 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3.242	
n-ブチルグリシジルエーテル	2426-08-6	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.63	
結晶性シリカ	14808-60-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
酸化チタン (IV)	13463-67-7	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	9.6	

## 土壌中の移動性

データはない。

## オゾン層への有害性

データはない。

## 13. 廃棄上の注意

## 廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

## 14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 3082 環境有害物質（液体）

輸送分類（IMO）：9 その他の有害性物質

輸送分類（IATA）：9 その他の有害性物質

容器等級：III

## 国内規制がある場合の規制情報

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

## 15. 適用法令

## 国内法規制及び関連情報

## 日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査（リスクアセスメント）すべき物（法第 57 条の 3）

労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）

労働安全衛生法に基づく変異原性化学物質：労働省労働基準局長通達 基発第 3 1 2 号の 3 の別添 1 「変異原性が認められた化学物質による健康障害を防止するための指針」

労働基準法に基づく「感作性」化学物質：労働省労働基準局通達 基準第 1 8 2 号の 2

海洋汚染防止法：環境有害物質

化管法：指定化学物質

船舶安全法、航空法：有害性物質

労働安全衛生法：令和4年厚生労働省告示第371号 がん原性があるものとして厚生労働大臣が定めるもの

## 主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降 2027年3月31日迄	2027年4月1日以降
エポキシ樹脂	4,4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2,3-エポキシプロパンの重縮合物（液状のものに限る）	該当	該当	該当

n-ブチルグリシジルエーテル	ノルマル-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル	該当	該当	該当
結晶性シリカ	結晶質シリカ	該当	該当	該当
酸化チタン(IV)	酸化チタン(IV)	該当	該当	該当

#### 化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
n-ブチルグリシジルエーテル	ノルマル-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル	359	第2種指定化学物質

## 16. その他の情報

#### 改訂情報

改訂情報なし

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。



## 安全データシート

Copyright, 2026, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

Document Group Number	10-3163-2	版	1.00
発行日	2026/02/01	前発行日	初版

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

## 1. 化学品及び会社情報

### 1.1. 化学品の名称

3M<sup>™</sup> Scotch-Weld<sup>™</sup> 2158 B/A Epoxy Adhesive (Part A)

### 1.2. 推奨用途及び使用上の制限

#### 推奨用途

構造用接着剤

### 1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分1

皮膚腐食性/刺激性： 区分1B

皮膚感作性： 区分1

水生環境有害性 短期（急性）： 区分3

水生環境有害性 長期（慢性）： 区分3

### GHSラベル要素

#### 注意喚起語

危険

#### シンボル

腐食性 感嘆符

#### ピクトグラム

**危険有害性情報**

H314	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H412	長期継続的影響により水生生物に有害

**注意書き****安全対策**

P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P280D	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

**応急措置**

P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P303 + P361 + P353A	皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P310	直ちに医師に連絡すること。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P301 + P330 + P331	飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

**保管**

P405	施錠して保管すること。
------	-------------

**廃棄**

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

**その他の有害性**

アミン類に感作経験がある場合は、他のアミン類に対しても交差感作反応をおこす。 胃腸への腐食のおそれ。

**3. 組成及び成分情報**

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
石灰石	1317-65-3	40 - 70

ポリアミド樹脂	64754-99-0	10 - 30
ポリアミド樹脂2	68410-23-1	10 - 24
非有害成分	営業秘密	1 - 10
硫酸バリウム	7727-43-7	8.7
トリエチレンテトラミン	112-24-3	1.4
結晶性シリカ	14808-60-7	0.23

## 4. 応急措置

### 応急措置

#### 吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

#### 皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。付着した衣類は脱ぐ。直ちに医療機関を受診する。衣類は再使用する前に洗濯する。

#### 眼に入った場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医療機関を受診する。

#### 飲み込んだ場合

口をゆすぐ。無理に吐かせない。直ちに医療機関を受診する。

#### 予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

皮膚の熱傷（局所的な発赤、腫れ、かゆみ、激しい痛み、水疱、組織破壊）。アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。眼への深刻な損傷（角膜の曇り、激しい痛み、裂傷、潰瘍、および視力の著しい障害または喪失）。

#### 応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火剤を使用すること。

### 使ってはならない消火剤

情報なし。

### 特有の危険有害性

本製品では予想されない。

### 有害な分解物または副生成物

#### 物質

一酸化炭素  
二酸化炭素  
塩化水素

#### 条件

燃焼中  
燃焼中  
燃焼中

### 消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

ばく露評価の結果に基づいて個人用保護具を使用すること。推奨の個人用保護具についてはセクション8を参照する。漏出時に予想されるばく露がセクション8に記載されている個人用保護具の保護性能を超える場合、または不明な場合は、材料の物理的および化学的危険性を考慮し、適切な保護性能を有する個人用保護具を選択する。緊急対応のための個人用保護具の例としては、可燃性物質の漏出時の防火服の着用、漏出物質が腐食性・感作性・重大な皮膚刺激性がある場合や皮膚から吸収される可能性がある場合の化学防護服の着用、吸入有害性のある化学物質に対しては陽圧式送気マスクの装着が挙げられる。物理的および健康有害性に関する情報については、SDSのセクション2および11を参照すること。区域から退避させること。新鮮な空気での場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。

### 環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。大量の場合には、下水設備や水施設に流入するのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。

### 保管

酸から離して保管する。強塩基から離して保管する。酸化剤から離して保管する。

## セクション8：ばく露防止及び保護措置

### 管理項目

### 許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
トリエチレンテトラミン	112-24-3	AIHA	TWA:6 mg/m <sup>3</sup> (1 ppm)	皮膚

石灰石	1317-65-3	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m <sup>3</sup> ;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m <sup>3</sup>	
結晶質シリカ, 吸入性粉じん	14808-60-7	JSOH OELs	TWA(吸入性粉じんとして)(8時間):0.03 mg/m <sup>3</sup> ;CEIL(吸入性粉じんとして):0.03 mg/m <sup>3</sup>	1: ヒトに対して発がん性がある。
結晶質シリカ, 吸入性粉じん	14808-60-7	JSOH OELs	TWA(吸入性粉じんとして)(8時間):0.03 mg/m <sup>3</sup> ;CEIL(吸入性粉じんとして):0.03 mg/m <sup>3</sup>	1: ヒトに対して発がん性がある。
結晶質シリカ, 呼吸性画分	14808-60-7	ACGIH	TWA(吸入性画分): 0.025 mg/m <sup>3</sup>	A2: ヒトに対して発がん性が疑われる物質
硫酸バリウム	7727-43-7	ACGIH	TWA(吸入性画分): 5 mg/m <sup>3</sup>	

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA: American Industrial Hygiene Association

ISHL: 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL(濃度基準値): 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs: 日本産業衛生学会許容濃度

TWA: 時間加重平均値

STEL: 短時間ばく露限界値

ppm: 百万分率

mg/m<sup>3</sup>: ミリグラム/立方メートル

CEIL: 天井値

## ばく露防止策

### 設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

### 保護具

#### 眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。

全面マスク

間接式換気ゴーグル

#### 皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質: 樹脂ラミネート。

暴露の可能性が高い用途(例: スプレー、飛沫発生が予見される用途など)に本製品が用いられる場合、保護エプロンを使用する必要がある。適切なエプロンの材料を選定する際には手袋に推奨されている材料を参照のこと。手袋で用いた材料がエプロン用で入手できない場合は、ポリマーでラミネートした素材が適切な選択肢である。

## 呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态:	ペースト
色	暗灰色
臭い	ややアミド臭
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	>=110 °C
引火点	>=110 °C [試験方法: クローズドカップ法]
蒸発速度	適用しない
引火性	適用しない
燃焼点 (下限)	適用しない
燃焼点 (上限)	適用しない
蒸気圧	適用しない
相対蒸気密度	適用しない
密度	1.54 g/ml
比重	1.54 [参照基準: 水=1]
溶解度	なし。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
動粘性率	324,675 mm <sup>2</sup> /sec
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	0 g/l [試験方法: SCAQMD rule 443.1 での計算値] [詳細: パートBと一緒に使用した際]
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	0 g/l [試験方法: SCAQMD rule 443.1 での計算値] [詳細: 支給されたままの状態]
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	0 % [試験方法: SCAQMD rule 443.1 での計算値] [詳細: パートBと一緒に使用した際]
モル重量	データはない。

**ナノパーティクル**

この製品はナノパーティクルを含有する。

**粒子特性**

適用しない

**10. 安定性及び反応性****反応性**

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

**化学的安定性**

安定。

**危険有害反応の可能性**

有害な重合反応は起こらない。

**避けるべき条件**

大量のレジンを一度に硬化させると発熱によりレジンが焦げて発煙を生じるので、50 g以上のレジンを一度に硬化させないこと。

**混触危険物質**

強酸

強塩基

強酸化性物質

**危険有害な分解物**

**物質**

**条件**

知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

**11. 有害性情報**

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

**毒性学的影響に関する情報****ばく露による症状**

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

**吸入した場合**

気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

**皮膚に付着した場合**

皮膚薬傷（化学性腐食）：発赤、腫脹、かゆみ、痛み、水疱形成、潰瘍形成、か皮形成、癬痕形成などの症状。

皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応： 発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

#### 眼に入った場合

化学物質による眼の葉傷（化学性腐蝕）： 角膜のかすみ、化学熱傷、痛み、催涙、潰瘍、視力障害又は視力損失などの症状。

#### 飲み込んだ場合

胃腸への腐食作用： 口、喉、腹部の激しい痛み、吐き気、むかつき、下痢、血便、嘔吐などの症状。

#### 追加情報

アミン類に感作経験がある場合は、他のアミン類に対しても交差感作反応をおこす。

#### 毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い場合があります。

#### 急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
石灰石	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
石灰石	吸入-粉塵/ミスト (4時間)	ラット	LC50 3 mg/l
石灰石	経口摂取	ラット	LD50 6,450 mg/kg
ポリアミド樹脂2	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
ポリアミド樹脂2	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
硫酸バリウム	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
硫酸バリウム	皮膚	類似化合物	LD50 > 2,000 mg/kg
トリエチレンテトラミン	皮膚	ウサギ	LD50 1,465 mg/kg
トリエチレンテトラミン	経口摂取	ラット	LD50 1,591 mg/kg
結晶性シリカ	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
結晶性シリカ	経口摂取		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

#### 皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
石灰石	ウサギ	刺激性なし
ポリアミド樹脂2	In vitro data	刺激物
硫酸バリウム	類似化合物	刺激性なし
トリエチレンテトラミン	ウサギ	腐食性
結晶性シリカ	専門家による判断	刺激性なし

#### 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果

石灰石	ウサギ	刺激性なし
ポリアミド樹脂2	ウサギ	腐食性
硫酸バリウム	ウサギ	刺激性なし
トリエチレンテトラミン	ウサギ	腐食性

### 呼吸器感作性または皮膚感作性

#### 皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ポリアミド樹脂2	マウス	感作性あり
硫酸バリウム	類似化合物	区分に該当しない。
トリエチレンテトラミン	モルモット	感作性あり

#### 呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

#### 生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
ポリアミド樹脂2	In vitro	変異原性なし
硫酸バリウム	In vitro	変異原性なし
トリエチレンテトラミン	In vivo	変異原性なし
トリエチレンテトラミン	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
結晶性シリカ	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
結晶性シリカ	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

#### 発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
トリエチレンテトラミン	皮膚	マウス	発がん性なし
結晶性シリカ	吸入した場合	ヒト及び動物	発がん性

#### 生殖毒性

#### 生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
石灰石	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 625 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
ポリアミド樹脂2	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	授乳期早期交配
ポリアミド樹脂2	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	6週
ポリアミド樹脂2	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	授乳期早期交配
トリエチレンテトラミン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	器官発生期

#### 標的臓器

#### 特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
石灰石	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.812 mg/l	90 分
ポリアミド樹脂2	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	
トリエチレンテトラミン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	

#### 特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
石灰石	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
ポリアミド樹脂2	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	6 週
ポリアミド樹脂2	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	6 週
ポリアミド樹脂2	経口摂取	免疫システム	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	6 週
ポリアミド樹脂2	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	6 週
ポリアミド樹脂2	経口摂取	消化管	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	6 週
ポリアミド樹脂2	経口摂取	骨、歯、爪及び/又は毛髪	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	6 週
ポリアミド樹脂2	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	6 週
ポリアミド樹脂2	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	6 週
ポリアミド樹脂2	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	6 週
ポリアミド樹脂2	経口摂取	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	6 週
ポリアミド樹脂2	経口摂取	脈管系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	6 週
硫酸バリウム	吸入した場合	塵肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
結晶性シリカ	吸入した場合	珪肺症	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく

#### 誤えん有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

## 12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

#### 生態毒性

## 水生環境有害性 短期（急性）

GHS 水生環境有害性（急性）区分 3：水生生物に有害。

## 水生環境有害性 長期（慢性）

GHS 水生環境有害性 長期（慢性）区分 3：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
石灰石	1317-65-3	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	>100 mg/l
石灰石	1317-65-3	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	>100 mg/l
石灰石	1317-65-3	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	>100 mg/l
石灰石	1317-65-3	緑藻類	推定値	72 時間	EC10	>100 mg/l
ポリアミド樹脂	64754-99-0	液状化	実験	該当なし	NOEC	>100 mg/l
ポリアミド樹脂	64754-99-0	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
ポリアミド樹脂2	68410-23-1	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	4.34 mg/l
ポリアミド樹脂2	68410-23-1	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	7.07 mg/l
ポリアミド樹脂2	68410-23-1	ゼブラフィッシュ	推定値	96 時間	LC50	7.07 mg/l
ポリアミド樹脂2	68410-23-1	液状化	実験	3 時間	EC50	314 mg/l
ポリアミド樹脂2	68410-23-1	バクテリア	実験	該当なし	NOEC	>100 mg/l
ポリアミド樹脂2	68410-23-1	緑藻類	推定値	72 時間	EC10	1.78 mg/l
ポリアミド樹脂2	68410-23-1	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	7.07 mg/l
非有害成分	営業秘密	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
硫酸バリウム	7727-43-7	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
硫酸バリウム	7727-43-7	シブスヘッドミノウ	類似コンパウンド	96 時間	LC50	>849.7 mg/l
硫酸バリウム	7727-43-7	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	水への溶解限	>100 mg/l

			ンド		界において毒性は見られない	
硫酸バリウム	7727-43-7	ゼブラフィッシュ	類似コンパウンド	96 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
硫酸バリウム	7727-43-7	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
硫酸バリウム	7727-43-7	ミジンコ	類似コンパウンド	21 日	NOEC	4.9 mg/l
硫酸バリウム	7727-43-7	ゼブラフィッシュ	類似コンパウンド	33 日	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
硫酸バリウム	7727-43-7	液状化	類似コンパウンド	3 時間	EC50	>622 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	440 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	7,600 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	ゼブラフィッシュ	推定値	96 時間	LC50	5,000 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	60 mg/l
トリエチレンテトラミン	112-24-3	ファットヘッドミノウ(魚)	実験	96 時間	LC50	330 mg/l
トリエチレンテトラミン	112-24-3	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	20 mg/l
トリエチレンテトラミン	112-24-3	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	31.1 mg/l
トリエチレンテトラミン	112-24-3	緑藻類	実験	72 時間	ErC10	1.34 mg/l
トリエチレンテトラミン	112-24-3	ミジンコ	実験	21 日	EC10	1.9 mg/l
トリエチレンテトラミン	112-24-3	バクテリア	実験	2 時間	EC50	15.7 mg/l
トリエチレンテトラミン	112-24-3	シマミミズ	実験	56 日	EC10	31.1 mg/l
トリエチレンテトラミン	112-24-3	土壌微生物	実験	28 日	EC50	>100 mg/kg (乾燥重量)

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
石灰石	1317-65-3	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ポリアミド樹脂	64754-99-0	モデル 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	19 %BOD/ThOD	Catalogic™

ポリアミド樹脂2	68410-23-1	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	15 %BOD/ThOD	OECD 301D - クロージドボトル法
非有害成分	営業秘密	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
硫酸バリウム	7727-43-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
結晶性シリカ	14808-60-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
トリエチレンテトラミン	112-24-3	実験 水生固有生分解性	84 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	20 DOC除去%	OECD 302A 修正 SCAS 試験

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
石灰石	1317-65-3	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ポリアミド樹脂	64754-99-0	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	3.6	Catalogic <sup>™</sup>
ポリアミド樹脂2	68410-23-1	推定値 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	≤3.55	
非有害成分	営業秘密	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
硫酸バリウム	7727-43-7	類似コンパウンド BCF - 魚		生物濃縮係数	74.4	
結晶性シリカ	14808-60-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
トリエチレンテトラミン	112-24-3	推定値 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	<-2	

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

## 14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 2735 アミン類又はポリアミン類（液体）（腐食性のもの）

輸送分類（IMO）：8 腐食性物質

輸送分類（IATA）：8 腐食性物質

容器等級：III

国内規制がある場合の規制情報

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

## 15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査（リスクアセスメント）すべき物（法第57条の3）

労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること

労働安全衛生法：施行令18条の2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令18条有害物質（表示物質）

地方労働局長宛て通達 エポキシ樹脂の硬化剤による健康障害の防止について 昭和57年6月8日基発第339号

消防法：指定可燃物（可燃性固体類）

船舶安全法、航空法：腐しよく性物質

化管法：指定化学物質

本製品は下表の毒物及び劇物取締法の情報が表示されている物質を含むが、毒物及び劇物取締法の製剤には該当しない。

労働安全衛生法：令和4年厚生労働省告示第371号 がん原性があるものとして厚生労働大臣が定めるもの

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降 2027年3月31日迄	2027年4月1日以降
硫酸バリウム	硫酸バリウム	該当	該当	該当
結晶性シリカ	結晶質シリカ	該当	該当	該当
トリエチレンテトラミン	N,N'-ビス(2-アミノエチル)エタン-1,2-ジアミン	該当	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
トリエチレンテトラミン	トリエチレンテトラミン	278	第2種指定化学物質

## 毒物及び劇物取締法

成分	法律又は政令名称	毒物及び劇物取締法
トリエチレンテトラミン	N,N'-ビス(2-アミノエチル)エタン-1,2-ジアミン及びこれを含有する製剤	劇物

## 16. その他の情報

## 改訂情報

改訂情報なし

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。